

広報 伊万里

人がいきいきと活躍する 幸せ実感のまち



令和3年度 予算特集号



【写真】大坪保育園の園児と園舎（7ページに関連記事を掲載）（3月25日ドローン撮影）

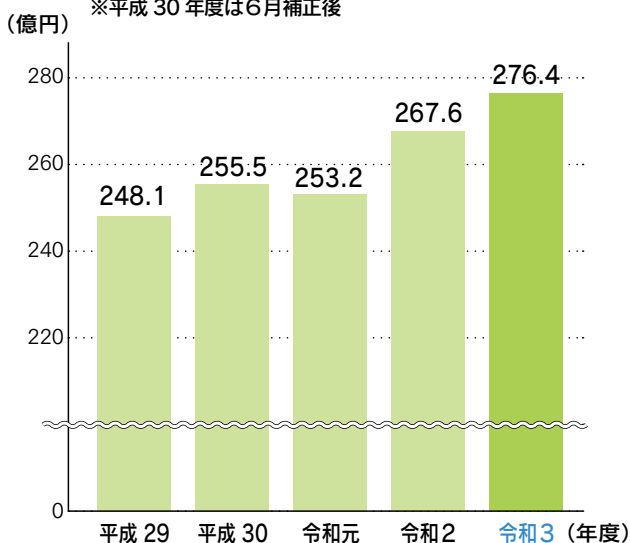
一般会計

令和3年度当初予算総額

276億4,300万円

一般会計予算額の年度別推移

※平成30年度は6月補正後

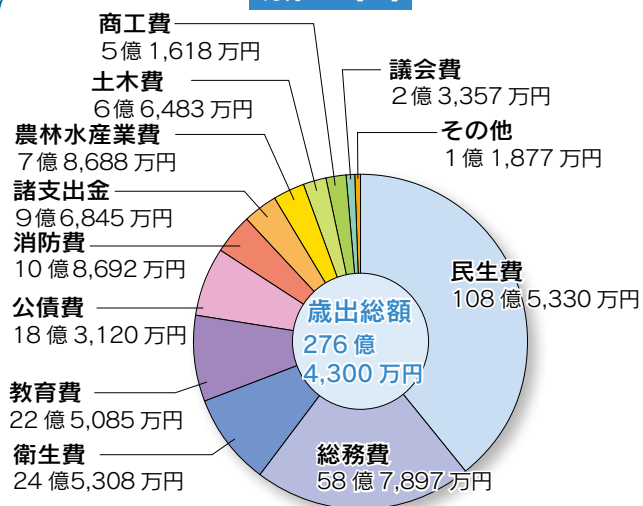


本市の令和3年度における財政状況については、歳入をみると、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、自主財源の根幹をなす市民税の大幅な減少が見込まれ、歳出では、社会保障に関する経費や一部事務組合への負担金などの義務的経費のほか、伊万里中学校改築工事、大坪地区における複合施設の整備などの普通建設事業費の増加などにより、依然として厳しい財政運営が続く見込みです。

このような中、令和2年10月に策定した『第5次伊万里市財政基盤安定化計画』に基づき、個々の事業を徹底的に見直すほか、コロナ禍における対応も十分配慮した真に必要で緊急性や実現性の高い事業を選択し、財政の健全化を図りながら、堅実な予算編成を行いました。

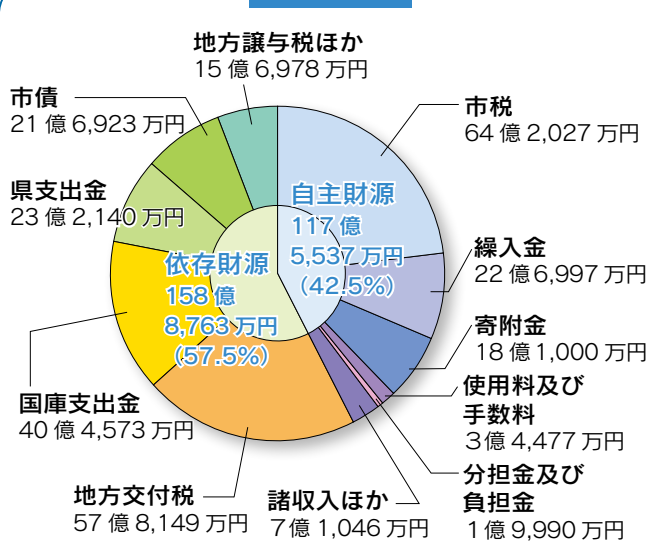
その結果、今年度の伊万里市一般会計予算は、総額で276億4,300万円となりました。令和2年度と比較すると3.3%の増加となっています。

歳出



- **民生費** …… 社会福祉や児童福祉、生活保護など市民の安定した生活を保障する経費です。
- **総務費** …… 企画や男女協働、国際交流など、主に総務部門に要する経費です。
- **衛生費** …… 保健衛生や、ごみの収集・処理などに要する経費です。
- **教育費** …… 小・中学校などの学校教育や社会教育、保健体育など教育全般の経費です。
- **公債費** …… 借入金の返済に要する経費です。
- **消防費** …… 火災など災害に対応するための経費です。
- **諸支出金** …… 企業会計への繰出金などです。
- **農林水産業費** …… 農林水産業の振興に要する経費です。
- **土木費** …… 道路や河川、住宅、公園、市街地などの整備や維持管理に要する経費です。
- **商工費** …… 商工業や観光の振興に要する経費です。
- **議会費** …… 議会運営に要する経費です。
- **その他** …… 労働費や災害復旧費などです。

歳入



- **市税** …… 個人と法人の市民税や固定資産税、たばこ税などです。
- **繰入金** …… 基金や特別会計からの繰入金です。
- **寄附金** …… ふるさと応援寄付金など、個人や法人などから受ける金銭寄付です。
- **使用料及び手数料** …… 施設の使用料、戸籍や住民票の謄抄本の手数料などです。
- **分担金及び負担金** …… 災害復旧事業の負担金、保育園の入所負担金などです。
- **諸収入ほか** …… 受託事業収入や雑入などです。
- **地方交付税** …… 国が徴収した税金から、地方公共団体が等しく事務を進められるよう一定の基準で交付されるものです。
- **国庫支出金** …… 国からの負担金や補助金です。
- **県支出金** …… 県からの負担金や補助金です。
- **市債** …… 市が行う事業の財源として、国や金融機関などから借り入れる借入金です。
- **地方譲与税ほか** …… 地方譲与税や地方消費税交付金などです。

特別会計

特定の事業を行う際、特定の収入をもってその支出に充て、一般会計と区分して経理する必要のあるため、特別会計を設けています。

令和3年度は、表1のとおり3つの特別会計を設けており、その予算総額は、145億519万円となっています。

■国民健康保険特別会計

国民健康保険税や県支出金を主な財源として、医療給付などをを行うための会計です。

■介護保険特別会計

介護保険料や国庫支出金を主な財源として、介護サービスを行うための会計です。

■後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療制度の適用を受ける75歳以上の高齢者と、65歳以上で一定の障害がある人から徴収した保険料を、佐賀県後期高齢者医療広域連合に納付する会計です。



写真はイメージです

表1 特別会計予算額

特別会計名	予算額
国民健康保険	68億4,819万円
介護保険	62億734万円
後期高齢者医療	14億4,966万円
計	145億519万円

企業会計

地方公営企業法の適用を受け、特別会計の中でも経営成績を明確にする必要があるため、次の3つの企業会計を設けています。それぞれの会計ごとの予算額は、表2のとおりです。

■水道事業特別会計

安心して飲める水を供給するため、水道使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

■工業用水道事業特別会計

工業用水を供給するため、使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

■下水道事業特別会計

下水道を維持管理するため、使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

市債現在高

建設事業などを行う際に、その財源の一部として、国や県、金融機関などから資金を借り入れています。市債の現在高は、表3のとおりです。

表3 市債現在高

会計区分	現在高
一般会計	218億4,349万円
国民健康保険特別会計	1億5,000万円
計	219億9,349万円

会計区分	現在高	
企業会計	水道事業	54億3,121万円
	工業用水道事業	95億7,651万円
	下水道事業	91億5,880万円
計	241億6,652万円	

※令和3年3月補正後の額です。

※主な借入先は、財務省、地方公共団体金融機構、佐賀県、市中金融機関などです。

表2 企業会計予算額

区分	収益的収支	資本的収支
水道事業	収入	収入
	15億1,280万円	3億7,282万円
	支出	支出
	15億1,280万円	10億6,024万円
工業用水道事業	収入	収入
	10億8,319万円	2億5,537万円
	支出	支出
	10億8,319万円	9億2,772万円
下水道事業	収入	収入
	12億6,415万円	11億3,713万円
	支出	支出
	12億9,295万円	14億6,375万円

激動の社会の先に

明るい未来を創りあげ

令和3年伊万里市議会第1回定例会（3月議会）で、深浦弘信市長が令和3年度の市政運営について所信表明を行いました。その一部を紹介いたします。

令和3年 所信表明 第1回定例会

市政運営にあたって

平成30年4月、市民の皆さまから市政運営の負託をいただき、早くも任期の最終年度を迎えます。

私は、「伊万里に新しい風を！子どもたちにさわやかな風を！」との思いを胸に、市民との対話を重視し、現場主義を貫きながら、本市の将来の発展と飛躍への確かな礎を築くため、全力を尽くしてきました。

特に、未来を担う子どもへの投資が最も大事だと考え、安全で快適に学習できる学校施設の整備をはじめ、豊かな創造力を育むプログラミング教育など、ICT教育の充実を積極的に進めてきました。また、地域の成長をけん引するIT企業の誘致活動が着実に成果を挙げ、若年層の雇用の場を創出し、先進的なデジタル技術を市内産業と融合させ、次なる発展を導く新しい地方創生の柱を築くことができました。

さらに、将来の世代に課題を残さない未来への責任を強く意識し、市民会館大ホールなどの廃止や公立保育園の民営化など、統廃合を含めた公共施設の再配置についても、将来のあるべき本市の姿を思い描いた上で苦渋の決断を行いました。果敢に実行してきました。このような市民の豊かな暮らしと経済、産業の持続的な発展の種が芽吹き、次なる成長へのステップに移ろうとした矢先に、未知のウイルスにより私たちの生活は一変し、

予想だにしない事態に直面したところであり、この苦難を克服するためには、私自身が不屈の信念を貫き、今こそ、確かなリーダーシップを発揮するときであると、改めて意を強くしたところです。

私は、まさに混迷を極める時代の真ただ中において、決して臆することなく、新たな道を切り拓く気概を持ち、過去の経験にとらわれない斬新な発想と大胆な行動力でイノベーションを起こし、地域のポテンシャルを最大限に引き出しながら、市民の夢と希望がかない、誰もが幸せを実感できる伊万里市づくりに向け、使命感を持って全力で取り組んでいく覚悟です。

新しい変化の中で

近年の日本経済は、米中間の貿易摩擦や消費税率の引き上げなどの影響により景気の後退感が漂い始めた中、突如として現れ猛威を振るった新型コロナウイルス感染症による社会経済活動の唐突かつ急激な停止から、景気の大幅な落ち込みを経験しました。

今なお、新規の感染者数が高い水準で推移するなど、予断を許さない状況が続いており、国や地方は、景気回復を目指す経済活動の後押しと感染拡大を防ぐ行動制限の両方を、同時に見極めながらの大変難しい舵取りを迫られています。

また、制限された社会活動の中で、デジタル技術の活用により、テレワークやWeb会議、オンライン授業など、コロナ禍を契機として新しい社会の仕組みが定着してきたことなどから、社会経済システムを再構築するデジタルシフトを積極的に推進しながら、コロナと共生する社会を構築していくことが求められています。

新しい時代のまちづくり

『ニューノーマル社会』と呼ばれる中で新しい生活様式や柔軟な働き方が日常化したことにより、若い世代を中心に地方で暮らすことへの関心が高まるなど、東京圏への人口集中の動きを鈍化させる新たな潮流が生まれています。

地方分散のチャンスが到来したこの機を逸することなく、これまで取り組んできた『ひと』と『しごと』の好循環の流れをさらに強め、『まち』に活力を与えるためには、令

和3年度を地域経済のコロナ禍によるダメージからの脱却と再生の年と位置付け、市民の皆様や企業、団体など連携を図りながら、地域の特性を生かした実効性のある地方



伊万里市長
深浦 弘信

創生の取り組みを進めていかなければなりません。

私は、まちづくりの原点は『ひとづくり』であるとの揺るぎない信念のもと、魅力的なしごとづくりやシティプロモーションの多様な展開により、暮らしや働く場の充実による若者の定着を図り、移住や定住、観光、企業立地など、今年の1月に誕生した本市の新しいキャッチコピー『いまりぞで、決まり！』と、あらゆる社会活動の中で選ばれるまちを目指していきます。

主要な施策の考え方

施策の取り組みにあたっては、いわゆるウイズコロナまたはアフターコロナへの対応も視野に入れ、市民との協働を基本として、国や県などと緊密に連携しながら、総合計画の将来都市像である『人がいきいきと活躍する幸せ実感のまち伊万里』の実現を目指し、次の考え方をもって施策の展開を図っていきます。

◆無限の可能性を秘める子どもの宝であり、新時代に適応した学びと地域が一体と

なった育ちの環境を充実させ、将来を見据えた人づくりに力を入れていきます。

◆住み慣れた地域を未来に向けて誇りを持って継承していくためには、地域住民が主体性を持って地域のまちづくり活動に取り組み、人と人がつながり続けるコミュニティを形成していくことが必要であることから、市民主導型のまちづくりを進めていきます。

◆人口減少が進行する中、地域の稼ぐ力を高め発展を図るためには、付加価値の高い仕事と雇用の機会を創出することが重要であることから、引き続きしごとづくりと人材の確保に力を注いでいきます。

◆コロナ禍により、観光客の誘致は大変厳しい状況となつているものの、アフターコロナを見据えて、交流人口の回復、その後の拡大を目指し、にぎわいのあるまちづくりを進めていきます。

◆市民の皆様にご幸福を実感してもらうため、暮らしの安全と安心が確保されたまちづくりを進めるとともに、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について

は、計画的かつ迅速な対応を図り、市民の命と暮らしを守る取り組みに全力を挙げていきます。

◆厳しい財政運営が続く中、創意工夫を凝らし、最少の経費で最大の効果を発揮する地方自治の原則を常に追求し、効率的で効果的な行財政運営に努めていきます。

明るく未来に向かって

令和3年度の施策の推進にあたっては、当面は新型コロナウイルス感染症の対応が中心となるものの、人口減少をはじめ、少子高齢化が顕在化する中で、私は、コロナ禍が続く激動の社会の先に明るい未来を創りあげるといふ強い信念のもと、積み重なった困難な課題にも勇気を持って挑戦する一年にしたいと考えています。

※次ページからは、主要な施策の概要と予算などについて、総合計画の6つのまちづくりの目標に沿って説明します。

1 安心して健やかな暮らしづくり

まちづくりの目標

行政と地域が一体となり、本市で活動するすべての人が自分らしくいきいきと輝くことができるよう、『安心して健やかな暮らしづくり』を進めます。

- ▼市民一人一人が心身ともに健康的な生活を送ることができるよう、各種保健事業の充実を図るとともに、地域や医療機関と一体となった健康づくり活動や介護予防サービスの提供を推進します。
- ▼高齢者や障害のある人など支援が必要な人が自分らしく生活できるような相談・支援体制の構築を進め、適切な介護サービスや障害福祉サービスを提供するとともに、施設の整備やサービスの提供により、子どもを健やかに育てる体制を整えます。
- ▼さまざまな福祉活動については、地域や関係機関との連携により社会全体で取り組むとともに、担い手の育成に努めます。



節分の豆まきで鬼を退治する伊万里保育園の園児

● 民生・児童委員活動事業（民生委員・児童委員活動環境の充実）

2284万円

民生委員・児童委員の活動環境の充実を図るとともに、活動を支援するため、委託料および補助金を交付します。

財源 県1297万円 市987万円

▼福祉課

● 地域福祉計画策定事業（新）61万円

複雑化、多様化する市民ニーズに応じた福祉施策を総合的に推進するため、第4次地域福祉計画を策定します。

財源 市61万円

▼福祉課

● 障害者介護・訓練等給付事業

14億4151万円

障害のある人の自立や社会参加を促進するため、障害のある人やその保護者に対し、障害福祉サービス利用時の介護給付費などを給付します。

財源 国7億1985万円 県3億5993万円 市3億6173万円

▼福祉課

● 障害児生活適応施設（ひまわり園）管理運営事業

2849万円

障害のある幼児とその保護者に、日常生活などに対応する訓練や指導を行うため、こどもハートフルセン

ターひまわり園を運営します。

財源 使用料1万円 諸収入1813万円 市1035万円

▼福祉課

● 障害児通所給付事業

2億4227万円

障害のある児童の療育を支援するため、障害のある児童の保護者に対して、障害児通所給付費などを給付します。

財源 国1億1998万円 県5999万円 市6230万円

▼福祉課

● 敬老行事支援事業

588万円

高齢者に敬意を表し長寿を祝うため、各町・地区において開催される敬老行事を支援します。

財源 市588万円

▼長寿社会課

● 家庭児童相談事業（支援対象児童等見守り強化事業費補助金（新））

185万円

支援が必要な児童に宅食などの支援を行う民間団体に対して、支援を行うときに要する人件費や食材費などの経費を補助します。

財源 国185万円

▼子育て支援課

● 子どもの医療費助成事業

1億6512万円

子育て世帯の負担を軽減するため、0歳から中学生までの子どもが通院・入院したときに必要な費用の一部を助成します。

財源 県4433万円 繰入金7320万円 諸収入47万円 市4712万円
▼子育て支援課

● 病後児保育事業（市民活動支援センター改修（新））

806万円

保護者が就労などにより、病気の回復期にある児童を自宅で保育できない場合に、児童を一時的に預かる病後児保育の保育室について、閉鎖した母子生活支援施設から移転するため、市民活動支援センターの一部を改修します。

財源 国269万円 県269万円 市268万円
▼子育て支援課

● 留守家庭児童クラブ管理運営事業

1億7202万円

就労などにより、昼間保護者がいない家庭の小学生の健全な育成を図るため、安全な生活の場や遊びの場を提供する留守家庭児童クラブを運営します。運営全般は、民間事業者へ委託します。

財源 使用料3889万円 国3854万円 県3854万円 諸収入1761万円 市3844万円
▼教育総務課

● 児童手当支給事業

9億6566万円

次代を担う児童一人一人の育ちを社会全体で応援するため、中学校修了までの児童を対象に、児童手当を支給します。

財源 国6億6956万円 県1億4733万円 市1億4877万円
▼子育て支援課

● 保育所等支援事業

20億9826万円

子ども・子育て支援法に基づき、市内の児童が私立保育所などに入所する場合、その児童の保育に要する経費などの一部を負担します。

財源 負担金1億1089万円 国10億3325万円 県4億6392万円 市4億9020万円
▼子育て支援課



遊戯を披露する久原保育園の園児

● 大坪保育園・コミュニティセンター複合施設整備事業

5億1624万円

公立保育園のうち一番古く、老朽化が著しい大坪保育園を建て替え、大坪コミュニティセンターとの複合施設とする建設工事を行います。

財源 繰入金8244万円 市債4億3380万円
▼まちづくり課、子育て支援課

● 伊万里・有田地区医療福祉組合運営負担金

2億7467万円

地域医療の確保を図るため、病院事業を行う伊万里・有田地区医療福祉組合の運営に要する経費を負担します。

財源 市2億7467万円
▼市民課

● 予防接種事業

1億6626万円

感染症の発生を未然に防止するため、子どもや高齢者などへの各種予防接種を実施します。また、風しんの抗体保有率が低い世代を対象とした風しん抗体検査や抗体価の低い人などへの風しん予防接種を実施します。

財源 国239万円 県36万円 市1億6351万円
▼健康づくり課

● 健康診査事業

4607万円

市民の健康保持のため、健康診査などを実施します。

財源 国64万円 県49万円 繰入金162万円 市4332万円
▼健康づくり課



大坪保育園・コミュニティセンター複合施設完成イメージ

創造的で心豊かなひとづくり

まちづくりの目標

市民一人一人が、みずからが住む郷土への誇りや愛着を持ち、個性や能力を伸ばし生かすことができるよう、『創造的で心豊かなひとづくり』を進めます。

- ▼ 子どもたちが意欲的に学び、社会で求められる能力を身に付け、心身ともに健やかに成長できるよう、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進します。
- ▼ 市民一人一人が生涯を通じて学び、自己実現を果たすことで、充実した人生を送ることができるよう、効果的な生涯学習に関する取り組みを進めます。
- ▼ 郷土の歴史や文化の保存と継承に努めるとともに、地域固有の資源の活用をはじめ、国際的な交流のほか、文化・芸術活動、スポーツの振興を図ることで、市民が文化やスポーツに親しむことができる環境づくりを進めます。
- ▼ ささまざまな人権問題の解決のため啓発を推進し、お互いの人権を尊重し合う共生社会の実現を図ります。



黒川小学校児童のサンドアート(イマリンビーチ)

● 教科書購入事業 1895万円

中学校教科書の全面改訂などに伴って、教師用教科書や指導書を購入します。また、各教室に設置している電子黒板を活用し、児童・生徒の学習への興味や関心を高め、多くの資料・情報を素早く提供することにより学力の向上を図るため、デジタル教科書を購入します。

▼ 学校教育課
財源 繰入金1890万円 市5万円

● プログラミング教育推進事業 300万円

義務教育においてプログラミング教育を計画的に実施するとともに、IT企業との官民連携による取り組みにより、プログラミング教育を推進します。

▼ 学校教育課
財源 繰入金300万円

● 小・中学校遠距離児童生徒通学支援事業 5060万円

遠距離を通学する児童・生徒の保護者の負担を軽減するため、スクールバスなどの運行や、通学費の補助などを行います。

▼ 学校教育課
財源 県581万円 市4479万円

● 小・中学校要保護・準要保護児童生徒就学援助事業 4161万円

経済的な理由により就学が困難な児童・生徒の保護者の負担を軽減するため、就学に要する経費を援助します。

▼ 学校教育課
財源 国32万円 市4129万円



中学校でのプログラミングワークショップでロボットカーを動かしました

● 小・中学校パソコン管理事業 7425万円

義務教育におけるICT活用環境の充実を図るため、電子黒板やサーバー機器などのシステムを更新します。

▼ 学校教育課
財源 繰入金90万円 市7335万円



伊万里中学校完成イメージ

● **中学校建設事業** 7億982万円
 校舎の耐震化などを図るため、伊万里中学校の建設（改築）事業を行います（平成29年度～令和5年度計画）。
 財源 国1億4314万円 繰入金9948万円 市債4億6720万円
 ▼ **教育総務課**

● **図書館資料収集事業** 1000万円
 情報文化の拠点や生涯学習の場として、各年代に応じたきめ細かな学習の支援を行うため、図書や雑誌などを購入します。
 財源 繰入金1000万円
 ▼ **市民図書館**



↑ 聖火リレーコース

● **保健体育総務事業（東京2020オリンピック聖火リレー警備（新））** 141万円
 5月9日（日）に東京オリンピックの聖火リレーが本市を通過するため、コースの警備を行います。
 財源 市141万円
 ▼ **スポーツ課**

● **スポーツ合宿誘致事業** 170万円
 市民と市外の高校生などとの合同練習により、競技力の向上や経済的効果の増大、市街の活性化を図るため、市内で2泊以上の宿泊が伴うスポーツ合宿に要する経費を補助します。
 財源 繰入金170万円
 ▼ **スポーツ課**



伊万里市民図書館



伊万里ハーフマラソン2020

● **ハーフマラソン大会開催事業** 200万円
 競技力の向上と、全国からのランナーの参加によるスポーツ交流人口の増加を図るため、ハーフマラソン大会を開催します。
 財源 繰入金200万円
 ▼ **スポーツ課**

● **国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進事業** 150万円
 令和6年度に、佐賀県で国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催されることに伴い、SAGA 2024伊万里市実行委員会に対して、負担金を支出します。
 財源 市150万円
 ▼ **スポーツ課**



↑ 第78回国民スポーツ大会・第23回全国障害者スポーツ大会ロゴ

● **東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設整備事業（新）（複合施設基本・実施設計業務委託）** 2905万円
 耐震基準を満たしていない東山代小学校と併設する東山代児童クラブおよび老朽化が著しい東山代コミュニティセンターの3つの施設を複合施設として整備するため、令和3年度に基本設計、令和4年度に実施設計を行います。
 財源 繰入金2905万円
 ▼ **教育総務課、まちづくり課**

活気あふれる産業づくり

まちづくりの目標

- ▼ 地域経済の活性化により生活の豊かさや都市の活力を高めることができるよう、本市の資源や特性を生かした『活気あふれる産業づくり』を進めます。
- ▼ 第1次産業において、価格の低迷や担い手不足という共通した課題がある中、効率的で安定的な経営の確立を図るとともに、さまざまな機会を積極的に活用し、ブランド力の向上に努めます。
- ▼ 地場商工業の経営基盤の強化や伊万里焼の伝統技術の継承に努めるとともに、中心市街地におけるにぎわいの創出を図るほか、新たな雇用機会の創出に努めます。
- ▼ 市観光協会などと連携し、観光客の受入体制の整備や観光情報の効果的な発信などにより、観光地としての魅力の向上を図ります。
- ▼ 本市の発展の歩みとともにある伊万里港については、貿易の拡大と施設の整備促進により国際物流拠点としての地位向上を図ります。



市ビジネス支援オフィスビル（立花町）



伊万里東部工業団地（松浦町・3月7日竣工）

● 伊万里の“いい職”説明会開催事業 45万円

学生やUIJTアーン希望者、地元企業への就職に意欲のある人などを対象に、市内企業のPRや就職情報の提供などを行うため、企業説明会を開催します。

財源 市45万円

▼ 企業誘致・商工振興課



伊万里の“いい職”相談会の様子

● 中山間地域農業集落活動支援事業 1億6030万円

中山間地域における農業生産条件の不利を補うとともに、耕作放棄地の発生防止や水源かん養、洪水防止などの多面的機能の維持・向上を図るため、協定集落に対して、共同活動などに要する経費を補助します。

財源 県1億2027万円 市4003万円

▼ 農業振興課



二里町炭山の棚田

● 新規就農者支援事業 1375万円

地域農業の次代を担う農業者の育成や確保を図るため、就農後の生活の安定などに要する経費を補助します。

財源 県1045万円 繰入金150万円 市180万円

▼ 農業振興課

● 有害鳥獣対策事業（有害鳥獣対策事業費補助金） 1542万円

有害鳥獣による農作物被害を軽減し、農業経営の安定を図るため、駆除や被害防止対策に要する経費を補助します。

財源 市1542万円

▼ 農業振興課

●伊万里梨産地強化支援事業

391万円

伊万里梨の農家や栽培面積が減少し、ブランド梨としての産地維持が危惧される中で、産地強化を図るため、園地の若返りを促し、梨園を守るための取り組みや就農希望者の研修期間中の生活などに要する経費を補助します。

財源 繰入金390万円 市1万円
▼農業振興課



伊万里梨の農園

●園芸農業機械・施設等整備支援事業

5775万円

収益性の高い園芸農業の確立を図るため、収量・品質の向上や経営規模の拡大、経営コストの削減に向けた取り組みに必要な機械・施設の整備に要する経費を補助します。

財源 県4678万円 繰入金1090万円 市7万円
▼農業振興課

●伊万里牛産地強化支援事業

852万円

肉用牛の農家や飼養頭数が減少し、ブランド牛としての産地維持が危惧される中で、産地強化を図るため、肥育牛農家の経営規模の拡大や一貫経営への移行、スマート畜産の取り組みに要する経費を補助します。

財源 繰入金850万円 市2万円
▼農業振興課



伊万里牛の飼育の様子

●農地・水保全管理支援事業

1億3026万円

農地、農業用施設などの資源および農村環境が将来にわたって良好な状態で保全し、その質的な向上が図られるよう、実施組織の事業に要する経費を補助します。

財源 県9790万円 市3236万円
▼農山漁村整備課

●中山間地域農業基盤・環境整備促進事業

3743万円

東部地区（黒川・南波多・大川・松浦町）で、中山間地域における農業基盤などの総合整備を行います。

財源 分担金657万円 市債1180万円 市1906万円
▼農山漁村整備課

●農業用排水路施設等整備事業

2967万円

災害の未然防止や農地などの保全、農業生産の維持、農業経営の安定を図るため、老朽化した農業用施設の改修などを行います。

財源 分担金203万円 県2414万円 市債370万円 市△20万円
▼農山漁村整備課

●経営体育成基盤整備事業【新】

2275万円

農業の衰退防止および作物の生産性向上を図るため、農地などの再整備を行います。

財源 分担金1138万円 市債1020万円 市117万円
▼農山漁村整備課

●森林経営管理事業

2469万円

森林の適正な管理と林業経営の振興を図るため、森林経営管理法に基づき、適切な管理がなされていない森林の所有者と、意欲と能力のある林業経営者を仲介します。

財源 繰入金2469万円

▼農山漁村整備課



大野岳からの景色（ドローンで撮影）



● **企業誘致総務事業（土地開発公社利子補給補助金〔新〕）** 159万円

伊万里東部工業団地（松浦町）の整備に伴い、市土地開発公社が借り入れた資金について、同公社との契約に基づき、その利子相当額を補助します。

財源 市159万円
▼企業誘致・商工振興課

● **ビジネス支援サービス業等立地促進事業** 6642万円

新たな雇用の創出などを図るため、民間物件を借り上げ、事務系企業専用オフィスとして運用するとともに、立地企業に対して、奨励金を交付します。

財源 使用料1889万円 繰入金4750万円 市3万円
▼企業誘致・商工振興課

● **観光PR事業** 352万円

西九州自動車道の延伸に伴い、福岡都市圏などからのさらなる誘客を図るため、旅行会社などへの営業活動やさまざまなメディアを活用した情報発信を行います。

財源 繰入金350万円 市2万円
▼観光戦略課

● **伊万里ブランド販売促進事業** 168万円

伊万里ブランドの販売促進と市への誘客促進を図るため、福岡都市圏な

どのホテルで、伊万里産の食材を使った限定メニューを伊万里焼の器で提供する『伊万里フェア』を開催します。また、福岡都市圏のホテルなどで伊万里焼風鈴の展示などを行います。

財源 繰入金160万円 市8万円
▼観光戦略課

● **どっちゃん祭り開催支援事業** 220万円

かつての焼物積出し港であった伊万里津のにぎわいを女みこしなどで再現し、伊万里の夏祭りとして定着している『どっちゃん祭り』の実施に要する経費を補助します。

財源 繰入金220万円
▼観光戦略課

● **いまり秋祭り開催支援事業** 488万円

伊万里の郷土色豊かな伝統を織りなす、市民総参加型の秋祭りとして定着している『いまり秋祭り』の実施に要する経費を補助します。

財源 繰入金480万円 市8万円
▼観光戦略課

● **市内周遊観光券発行支援事業** 300万円

西九州自動車道の延伸に伴い、福岡都市圏からの誘客の拡大と周遊促進、市内での観光消費額の増加を図るため、食事や土産、体験に係る費

用を助成する周遊観光券の発行に要する経費を補助します。

財源 繰入金300万円
▼観光戦略課

● **伊万里港湾機能再編調査促進事業** 667万円

伊万里港における将来の港湾機能の再編を視野に置き、港湾管理者の県が行う、同港が目指す将来の姿を検討する調査に要する経費を負担します。

財源 繰入金667万円
▼伊万里湾総合開発・国道対策課

● **伊万里・有田焼伝統的工芸品産業振興事業（伊万里鍋島焼伝統産業振興事業費補助金〔新〕）** 200万円

市の伝統産業の柱である伊万里鍋島焼の伝統的な振興を図るため、伝統技術の継承や後継者の確保・育成、販路拡大などの取り組みに要する経費を補助します。

財源 繰入金200万円
▼企業誘致・商工振興課

● **中小企業振興資金貸付事業** 2億3628万円

市内中小企業の資金調達の円滑化を図るため、中小企業振興資金の貸付の原資を、金融機関に預託するとともに、信用保証料を全額補てんします。

財源 県19万円 諸収入2億3000万円 市609万円

▼企業誘致・商工振興課



まちづくりの目標

4 生活の基盤づくり

市民の日常の暮らしを守り維持していくことができるよう、必要なインフラ整備に努め適正に維持管理することにより『生活の基盤づくり』を進めます。

- ▼西九州自動車道の延伸や幹線道路の整備により安全かつ迅速な交通ネットワークの構築を図るとともに、利便性が高く、持続可能な公共交通網の構築を推進します。
- ▼老朽化が進む道路や上下水道などのインフラ資産、公共建築物の効率的な維持管理を図るとともに、高齢者や障害のある人など、すべての人が安心して生活することのできる環境の整備に努めます。
- ▼用途地域に基づく開発の促進や都市計画画施設の整備の推進により、秩序ある都市空間の形成を図ります。
- ▼低家賃で良質な市営住宅の供給に努めるとともに、住環境における多様なニーズに対応するための相談体制の整備を図るほか、増加が見込まれる空き家などについては、状況に応じて所有者に適正な管理を指導するなど、安全の確保に努めます。



3月20日、いまりんバスの新車両が運行開始



地域が運営を行うコミュニティバス

●コミュニティバス等運行事業

2577万円

高齢者をはじめとした交通弱者の移動手段を確保するため、市独自の地域密着型バスを運行します。また、民間バス会社の廃止路線の代替として、デマンドタクシーの運行をタクシー会社に委託するとともに、武雄・桃川間のコミュニティバスを武雄市と共同で運行します。

財源 繰入金2570万円 市7万円

▼まちづくり課

●バス交通支援事業

9428万円

地域の交通手段として、バスの運行を確保するため、不採算バス路線の維持や地域が運営を行うコミュニティバスの運行に要する経費を補助します。

財源 繰入金9420万円 市8万円

▼まちづくり課

●道路管理事業（単独）

7311万円

老朽化した道路照明灯を修繕するほか、市内全域に係る市道の維持補修などを行います。

財源 県1252万円 市債920万円 市5139万円

▼道路河川課

●橋りよう管理事業（補助）

6808万円

道路更新防災等対策事業費補助金を活用して、『伊万里市橋梁長寿命化修繕計画』に基づいて、老朽化している橋りようを補修します。

財源 国3693万円 市債3020万円 市95万円

▼道路河川課

●都市計画総務事業（景観計画策定、都市計画道路見直し【新】）

700万円

地域の特性を生かした良好な景観の形成を促進するため、景観計画策定委員会を設置し、景観区域や当該区域における行為の制限などを定める『景観計画』を策定します。また、未整備の都市計画道路を見直すため、調査や検討を行います。

財源 県200万円 市500万円

▼都市政策課

●市営住宅改修事業（社会資本整備総合交付金）

4193万円

社会資本整備総合交付金を活用して、老朽化している市営住宅を改修します。

財源 国2037万円 市債2070万円 諸収入2万円 市84万円

▼施設営繕課

まちづくりの目標

地域の歴史や豊かな自然環境を次代につなぎ、安全・安心に暮らすことができるよう、自然環境や災害などに配慮し対応した『住みよい環境づくり』を進めます。

▼市民や事業者と、行政が連携することにより、ごみの減量化・資源化に取り組みなど、地域の生活環境はもとより地球環境への配慮に努めるとともに、再生可能エネルギーの導入を検討するなど、循環型社会の構築に努めます。

▼自然災害の教訓を踏まえ、将来にわたって安全・安心に暮らし続けることが可能な環境の創出が求められており、防災体制を整備するとともに、市民の危機管理意識の醸成を図ります。

▼市民の交通安全意識の高揚を図るとともに、犯罪やトラブルから市民を守る取り組みを進めるなど、安全なまちづくりを目指します。



市消防出初式の一斉放水

●伊万里・有田地区衛生組合運営負担金

2億1835万円

伊万里・有田地区衛生組合が行うし尿などの処理や火葬場事業に要する経費を負担します。

財源 市2億1835万円

▼環境課

●一般廃棄物収集運搬事業

1億7697万円

ごみを分別・収集するための指定ごみ袋などを作製するとともに、一般廃棄物を収集・運搬します。

財源 手数料9506万円

諸収入30万円 市8161万円

▼環境課

●佐賀県西部広域環境組合運営負担金

8億4367万円

市内から搬出されたごみ（一般廃棄物）を衛生的に処理するため、さが西部クリーンセンターを運営する佐賀県西部広域環境組合の運営に要する経費を負担します。

財源 市8億4367万円

▼環境課

●広域ごみ処理施設建設に係る地域振興事業

1億8677万円

佐賀県西部広域環境組合とさが西部クリーンセンター対策協議会との間で締結された地域振興策協定に基づ

いて、組合からの依頼を受け、松浦町にスポーツ・レクリエーション施設を整備します。

財源 繰入金1億8677万円

▼スポーツ課

●伊万里・有田消防組合運営負担金

9億1843万円

消防事業を行う伊万里・有田消防組合の運営に要する経費を負担します。

財源 市9億1843万円

▼消防調整課

●消防団運営事業（消防団活動環境の充実）

925万円

消防団の活動環境の充実を図るため、消防団運営交付金の額を増額するとともに、各地区消防団に配備している消防用ホースを更新します。

財源 県925万円

▼消防調整課

●防災行政無線施設管理事業

1663万円

市民の生命、財産を災害から守るため、市民に迅速かつ確実に災害情報を伝達することができる防災行政無線の維持管理を行います。

財源 県1663万円

▼防災危機管理課

自立と協働のまちづくり

まちづくりの目標

直面する行政課題に柔軟に対応していくことができるよう、効率的で自立した自治体経営に努めながら、まちづくりへの市民の主体的な参画による『自立と協働のまちづくり』を進めます。

- ▼ まちづくり団体や地域のまちづくり活動を支援し、市民活動の新たな担い手づくりに努めるなど、市民みずからが地域の課題を解決する取り組みへの支援に努めます。
- ▼ 性別や年齢などに関わらず、すべての人がその人らしく個性と能力を十分に発揮することができる社会の実現を図ります。
- ▼ 市税や使用料などの自主財源の適正な確保を図るとともに、直面する行政課題に対し、限られた行政資源の有効な活用を図るほか、他自治体との連携や民間活力の導入を図るなど、効果的な行政運営に努めます。
- ▼ 本市ならではの魅力の向上や再発見を進めながら、その魅力を戦略的に市外に発信するシテイプロモーションを推進し、移住・定住の促進を図ります。



伊万里信用金庫と地方創生に関する包括連携協定締結 (12月21日)



ふるさと納税返礼品カタログの一部

● 第6次総合計画後期基本計画策定事業【新】 100万円

第6次総合計画前期基本計画の計画期間が令和4年度で満了となるため、後期基本計画の策定に向け、市民アンケートなどを実施します。

財源 市100万円 ▼ 企画政策課

● 公共施設適正管理事業【新】 1億1172万円

令和2年3月をもって大ホールを廃止した市民会館について、公共施設等適正管理推進事業債を活用して、大ホールの解体を行います。

財源 市債1億50万円 市1122万円 ▼ 企画政策課

● ふるさと応援寄附募集事業 11億1785万円

ふるさと納税制度を活用して寄附があった場合に、特産品を送付し市をPRするとともに、特産品の販売を促進し、産業振興と当該基金への寄附の増加を図ります。

財源 繰入金11億1785万円 ▼ 財政課

● シテイプロモーション推進事業 496万円

市を広くPRするため、地域プロ

モーションに必要なデジタルマーケティングの研究や実証実験を行うとともに、市の地域資源の発掘や新たな魅力の創出を図り、戦略的な情報発信を行います。

財源 国207万円 繰入金280万円 市9万円 ▼ 情報政策課

● 関係人口創出事業【新】 165万円

関係人口の創出拡大などに向けた新たな取り組みとして、Webサイトを活用し、都市部の専門的スキルを有した優秀な企業人の副業と経営資源が不足する市内企業をマッチングさせる仕組みを構築します。

財源 国82万円 市83万円 ▼ 企業誘致・商工振興課

● DX推進事業【新】 121万円

デジタル・トランスフォーメーション(DX)を推進するため、企業や農業団体関係者などを対象とした研修会を開催します。また、市内IT企業と協働したDXの活用や業務のデジタル化に向けた実証実験を行います。

財源 国60万円 繰入金60万円 市1万円 ▼ 情報政策課



- 市キャッチコピー『いまりで、決まり!』
- 市マスコットキャラクター『いまりんモーモくん』



令和3年度 予算特集号

- 発行日／令和3年5月1日
- 発行編集／伊万里市情報政策課
シティプロモーション推進室
(0955)23-4313 (直通)
- 〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355 番地1
- 伊万里市のホームページ
<https://www.city.imari.saga.jp/>
- 印刷／山口印刷株式会社